

(169) 栃木県矢板の尚仁沢の湧水とその近傍の幾つかの鉱山

宇都宮の北西方向、高原山の南麓を流れる尚仁沢は湧水を起源とした沢であり、日本の名水百選の認定を受けている。著者（小山市在住）は長年この湧水を愛飲している。

ところでこの尚仁沢付近には、玉生から63号を進んでいくが、この一帯には結構多数の鉱山跡がある。本稿で、尚仁沢の湧水の紹介ついでに、近傍の鉱山跡も紹介しよう。鉱山跡を訪れ、尚仁沢の湧水も容器にくみ取ることを勧める。

なを、尚仁沢の湧水は、湧水現地まで行かなくても、手に入る。近くの東荒川ダム親水公園には、湧水の給水場が駐車場の東端に設置され、自由に汲み取ることができる。図2中のP1から63号を少し先に1km程進み、案内板に従って左折すれば、公園である。

2022年8月

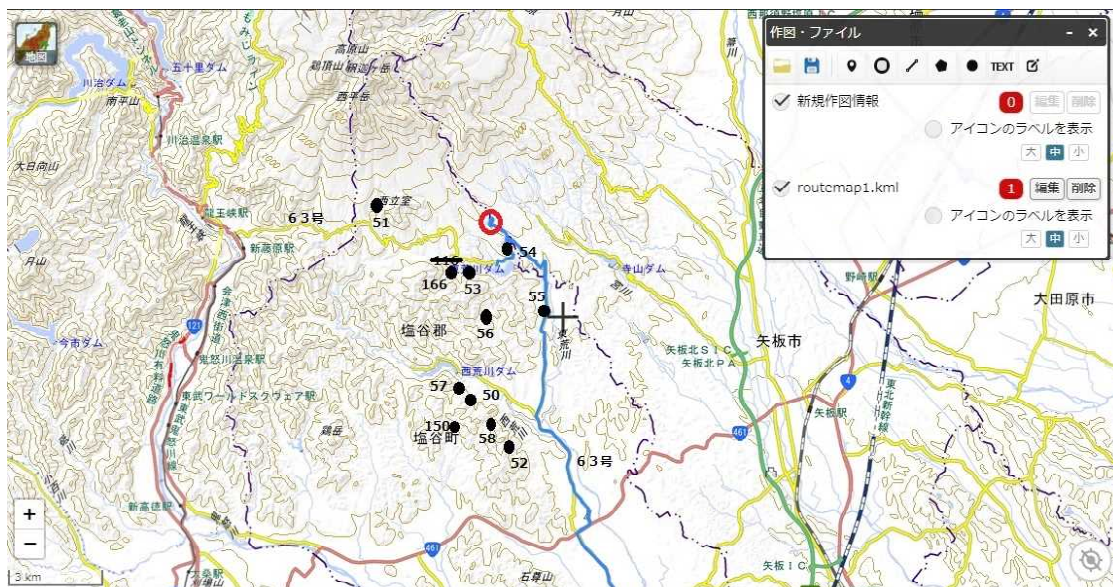


図1 宇都宮の北西方向、高原山の南麓に、尚仁沢がある、塩谷郡と矢板市の境界に沿った部分が尚仁沢である。赤輪のところが湧水現地。近傍の幾つかの鉱山跡を黒丸と番号で記している。

(50) 寺島、(51) 立室、(52) 万寿、(53) 天井沢、(54) 高山、(55) 丸山、(56) 大名沢、(57) 釜ノ沢、(58) 白銀、(150) 玉船、(166) 鉛山。

数値は本探査記中の項目番号である。より便利な鉱山跡分布図を以降の図3に示している。図3の説明文を手引きにすれば、著者が最近提供を開始したマップにたどり着けよう。



図2 図1の部分拡大図。P1が「尚仁沢駐車場」（トイレ付き）。赤輪が湧水現地。P1から徒

歩となるが、整備されたハイキングコースである。砂防ダムを巻くアップダウンの箇所以外はほぼ平坦である。湧水現地には、現在別コースも開設されている。赤矢印のように車で上っていき、P 2 付近に駐車（ほぼ路肩駐車）する。徒歩で直ぐに湧水現地に行ける。

現地の写真



写真1 図2中のP1で掲示されている「尚仁沢遊歩道」の案内看板である。湧水現地まで徒歩約30分。天気が良ければ快適なハイキングコースである。



写真2 P1の駐車場から遊歩道の入り口を見ている。

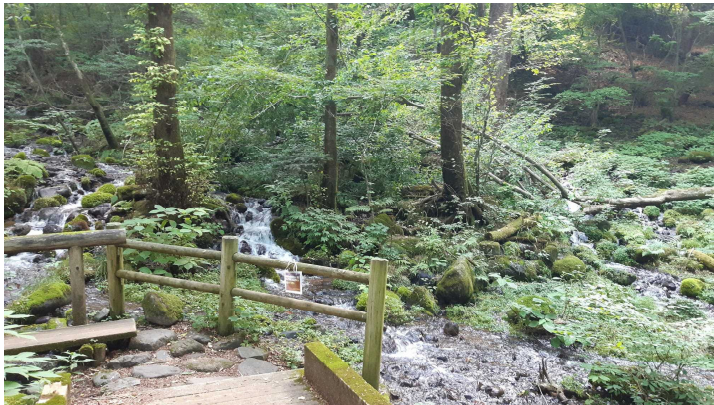


写真3 湧水の現地。その1。山側の斜面一帯から幾筋もの湧水が流れ出している。



写真4 湧水の現地。その2。現地の紹介看板。赤上着の客人はポリタンクを手にして、ここでの湧水を取ろうとしている。P2から来た人であろう。



写真5 湧水の現地。その3。湧き出し口の一つを上流側から見ている。



写真6 図2中のP2点で、湧水地の方向への道を見ている。この付近の手前まで林道は舗装されている。車は道脇に止めることとなる。ここからは徒歩5分ほどで湧水現地。

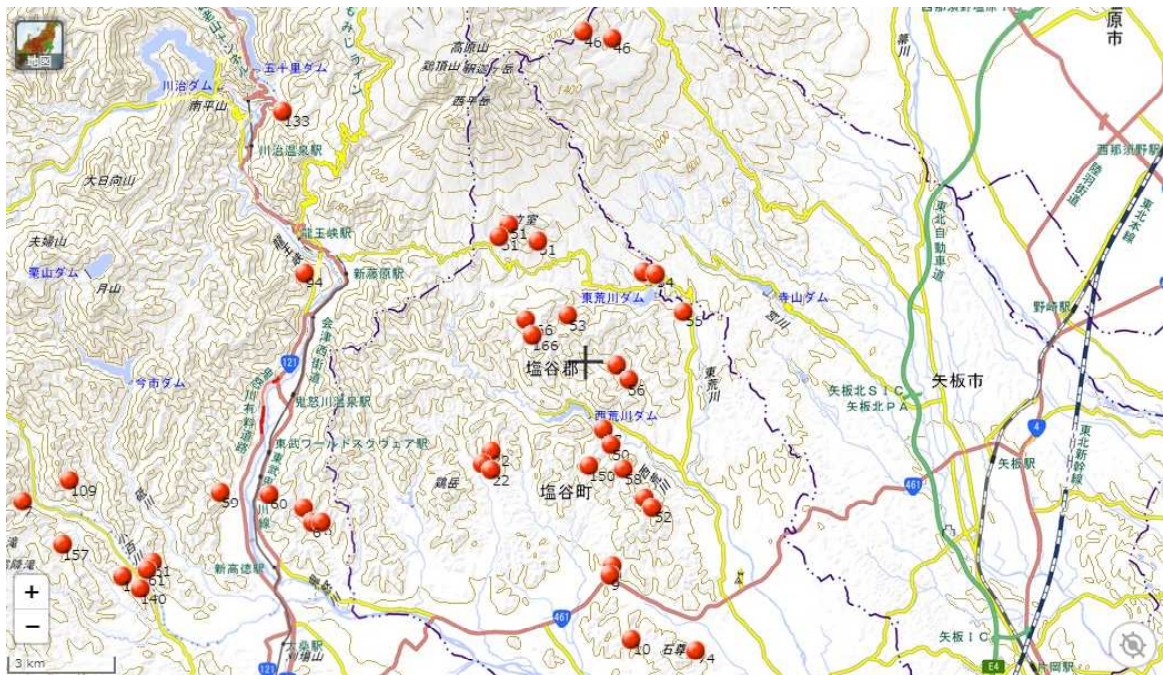


図3 この項を書きながら、著者が鉱山探査記で紹介している鉱山跡を、日本地図上で分布させておくに便利であることに気がついた。国土地理院がインターネットで公開している日本地図を利用して、それに鉱山跡を書き込んだ。その結果の一部が、この図3である。赤丸が探査済みの鉱山跡、隣り合う番号が探査記で紹介している鉱山跡の項目番号である。このマップからは、尚仁沢近郊の鉱山跡が一目で見て取れよう。このマップは http://kinno-homepage.sakura.ne.jp/kinno_mineral.html にアクセスすればよい。